

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公表番号】特表 2019-522692 (P2019-522692A)

【公表日】令和 1 年 8 月 15 日 (2019.8.15)

【年通号数】公開・登録公報 2019-033

【出願番号】特願 2018-560061 (P2018-560061)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/18 (2006.01)

C 0 8 L 23/02 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

C 0 8 F 214/22 (2006.01)

B 2 9 C 48/00 (2019.01)

B 2 9 K 27/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 23/02

C 0 8 L 77/00

C 0 8 K 5/09

C 0 8 F 214/22

B 2 9 C 48/00

B 2 9 K 27:12

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 15 日 (2020.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 30 モル % の量のフッ化ビニリデン単位及び少なくとも 5 モル % の量のテトラフルオロエチレン単位を含む熱可塑性フルオロポリマーであって、ヘキサフルオロプロピレン単位を含まないか、又は 5 モル % 未満のヘキサフルオロプロピレン単位を含む、熱可塑性フルオロポリマーと、

組成物の主成分としての非フッ素化ポリマー、又はポリマー加工添加相乗剤のうちの少なくとも一方と、

を含む、組成物。

【請求項 2】

前記フッ化ビニリデン単位の量が、30 モル % ~ 95 モル % の範囲であり、前記テトラフルオロエチレン単位の量が、5 モル % ~ 70 モル % の範囲である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記熱可塑性フルオロポリマーが、クロロトリフルオロエチレン単位、トリフルオロエチレン単位、1 - ヒドロペンタフルオロプロピレン単位、2 - ヒドロペンタフルオロプロピレン単位、プロピレン単位、及びこれらの組み合わせから選択される単位を更に含む、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

**【請求項 4】**

前記熱可塑性フルオロポリマーが、多峰性分子量分布を有する、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記組成物が前記非フッ素化ポリマーを含み、前記非フッ素化ポリマーがポリオレフィン又はポリアミドのうちの少なくとも 1 種を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 6】**

ヒンダードアミン光安定剤を更に含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 7】**

非フッ素化ポリマーの押出成形中に溶融欠陥を低減する方法であって、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の組成物を押出成形することを含む、方法。

**【請求項 8】**

前記組成物が前記ポリマー加工添加相乗剤を含み、前記ポリマー加工添加相乗剤が、ポリ(オキシアルキレン)ポリマー、シリコーン-ポリエーテルコポリマー、脂肪族ポリエステル、芳香族ポリエステル又はポリエーテルポリオールの中の少なくとも 1 種を含む、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 9】**

前記ポリマー加工添加相乗剤が、前記ポリ(オキシアルキレン)ポリマーを含み、カルボン酸、スルホン酸又はアルキル硫酸の金属塩を更に含む、請求項 8 に記載の組成物。

**【請求項 10】**

前記ポリマー加工添加相乗剤が、前記ポリ(オキシアルキレン)ポリマーを含み、前記組成物は、28%アンモニア溶液からの蒸気への18時間露光後に、組成が同一であるが前記熱可塑性フルオロポリマーの代わりにフッ化ビニリデン及びヘキサフルオロプロピレンコポリマーを含む匹敵する組成物よりも色が明るい、請求項 8 又は 9 に記載の組成物。